

令和5年度第4回南箕輪村持続可能な自治会検討委員会 議事録

- 1 開催日時 令和6年1月17日（水）午後7時から
- 2 開催場所 南箕輪村役場 講堂
- 3 開会
- 4 委員長あいさつ
- 5 検討補助委員からの意見共有
- 6 第3回持続可能な自治会検討委員会ワークショップまとめ・経過報告
ごみステーションの管理
広報紙配布・回覧周知
- 7 ワークショップ
各種部長と委員の推薦について・発表
- 8 次回の予定
日時 2月22日（木） 午後7時
場所 村民センター 2階 大会議室
- 9 その他
- 10 閉会

11 出席検討委員

西森一博	征矢 章	河野道夫	山田 茂
唐澤正吉	篠澤 哲	中山 隆	植田 学
志野英男			

12 出席検討補助委員

木下 茂	三澤 稔	大日方音巴	瀧澤婦美恵
------	------	-------	-------

13 欠席検討委員

小出俊一			
------	--	--	--

14 村長

藤城栄文			
------	--	--	--

15 副村長

田中俊彦			
------	--	--	--

16 出席事務局

池田友美	山口みずき		
------	-------	--	--

17 欠席事務局

清水勝宏			
------	--	--	--

18 一部参加（住民環境課）

松澤さゆり	松澤史浩		
-------	------	--	--

池田友美	<p>皆さん、こんばんは。定刻前ですけれども皆さんお集まりになりましたので、これから会議のほうを開催させていただきたいと思います。まず小出委員が所用により本日欠席となります。また総務課長の清水も所用により不在となっておりますので、代わりまして秘書広報係長の池田が進行させていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
池田友美	<p>会議次第1. 開会</p> <p>これより、令和5年度第4回南箕輪村持続可能な自治会検討委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。資料の確認をさせていただきます。まず、会議次第、資料1、資料2-1、資料2-2、資料3-1、資料3-2、資料3-3。以上となりますが、皆さんお手元におそろいでしょうか。</p>
池田友美 征矢章委員長	<p>会議次第2. 委員長あいさつ</p> <p>では、委員長あいさつ。あいさつをお願いいたします。</p> <p>皆さん、明けましておめでとうございます。今年度、4回になりますが、いろんな意見も出ておりますので、よくご検討いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
池田友美	<p>会議次第3. 検討補助委員からの意見共有</p> <p>3. 検討補助委員からの意見共有ということで、事務局から説明をいたします。</p>
山口みずき	<p>会議資料1になりますが、検討補助委員からの意見共有をさせていただきます。第3回の映像等をご覧くださいまして、瀧澤委員よりご意見をいただきました。ごみステーションの管理や広報紙の配布・回覧周知。その他の意見で係ごとの負荷の違いについてと、係の打ち合わせなどでのZoomの活用。あとは子育て世帯へのメリットなど、ご意見をいただきましたので共有させていただきます。ご一読いただきまして、今後の検討の参考にしていただければと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>続いて、4. 前回のワークショップのまとめに入る前に村長のほうから一言お願いしたいと思います。</p>
藤城栄文村長	<p>皆さん、改めましてこんばんは。これまで3回の会議を通じて、行政協力業務の中で重要なこれを変えていかなければならないという</p>

	<p>ころを洗い出していただいて、その一番というところでごみステーションや広報紙配布・回覧周知を前回までに検討したところです。この2点に関しましては、村の予算も大きく絡んでくるところであります。今、予算編成を迎えているところでありますが、この部分の予算も含めて第5回までに村としてはこういった変革を行なって対応していく。基本的には、皆さんのアイデアの通り、ごみステーションに関しましては、アウトソーシングを中心に将来的には個別収集もできるかもしれないといったところも検討余地を残しているところです。また広報紙の配布のところについては、デジタル化を推進していくといったところを、どのぐらいのスケジュール感を持ってやっていくか、予算を投じてやっていくかというところを役場の中で検討しているところであります。もう1つ。あまり広げてもまとまりがつかないものですから、今年度は最後に各部の部長と委員の推薦、ここの部分はあまり予算が関わってこないものですから、今日はこれをしっかり進めていただいて第5回の会議で皆さんにこういった形で進めます。ご審議をお願いします。といったところを予定しておりますので、本日もよろしくお願いいたします。私からは、以上です。</p>
<p>征矢章委員長</p>	<p>会議次第4. 第3回持続可能な自治会検討委員会ワークショップまとめ・経過報告</p> <p>それでは第3回持続可能な自治会検討委員会のワークショップをまとめていただきましたので、ローカルライフさんのほうからご説明いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>松澤清和</p>	<p>・ごみステーションの管理</p> <p>改めまして、皆さんこんばんは。本年もよろしくお願いいたします。まず、今お話にありました前回のワークショップのまとめについてご報告させていただきます。資料2-1のごみステーションの管理の表をご覧ください。こちらが前回、皆さんに議論していただいた内容をまとめたものになります。左側に課題、右側に皆さんがワークショップで出していただいた解決策案を掲載させていただきます。まず、ごみステーションの管理に関する課題と解決策ということで、ご意見をいただきました。これに伴って、今後の対応方法というところで、燃やせないごみの管理と燃やせるごみの管理について、燃やせないごみについてはアウトソーシングで対応したらどうかということと、燃やせるごみについては引き続き地区内</p>

	<p>で対応してはどうかといったようなご意見をいただきました。その上でアウトソーシングにあたって想定される課題と解決策ということで、シルバー人材センターにお願いするにしても月に180人の人件費がかかってしまう中で、この人数をもっと絞れないか、田畑区に関してはほかの仕事も一緒なのですが区民の方にアウトソーシングをして対応しているといった事例もある、というお話もいただきました。そのほかに報酬やごみの分別、ごみステーションの数の話等をいただいております。いただいた意見をもとに担当課で検討いただいておりますので、担当課からご説明をいただきたいと思います。</p>
<p>松澤さゆり</p>	<p>私、住民環境課長の松澤と申します。よろしくお願いたします。それではごみの分別の関係です。先ほど村長も申しましたとおり、燃やせないごみについてはアウトソーシングができるように計画しておりますが、いかんせん人数の関係もありますので4月からすぐというのはちょっと厳しいかもしれないです。なるべく早い時期に、来年度の内には変えていけたらと考えております。個別収集の話も先ほど村長がされましたが、こちらについてはまだ研究等をいろいろしていかないと難しい点がたくさんありますので、もう少し時間をいただきたいと思います。よろしくお願いたします。</p>
<p>松澤清和</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>松澤清和</p>	<p>・広報紙配布・回覧周知 それでは引き続き広報紙配布と回覧周知という資料2-2のワークショップのまとめをご覧ください。こちらについては、上から広報紙配布・回覧周知に関する課題と解決策ということで、同じく左側が課題、右側に解決策ということで皆様のご意見をまとめさせていただきました。まず回覧板と配布物を組長さんが配ることに対する住民の負担というご意見の中でデジタル化で対応したらどうかというご意見をいただいております。また情報を周知していくことが大事で、その周知方法を検討していく必要があるというお話をいただいております。併せまして、区の中、組の中での情報共有。集金や組の中での作業みたいなものもデジタル化できたらいいというお話もいただいております。デジタル化にあたって想定される課題と解決策ということで、デジタル弱者の対応や現在デジタルについては過渡期で高齢者を中心にデジタル化ではなく紙媒体が欲しいという方もいらっしゃるのでは、そこについては両輪で対応していくということも大切というご</p>

池田友美	<p>意見。またデジタル弱者向けの研修も必要、一時的には役員の皆さんが大変かもしれないが、これを乗り越えていくことが大切というようなお話しもいただいております。併せまして情報伝達、現状の把握。今どれだけの人が紙ではなくデジタル、インターネットを使って情報を得ることができるのかといったような実態調査も必要というお話しもいただきました。もう1つは区内情報のDX化も必要ということで、もとのページを役場で一括管理するといったお話しもいただいております。具体的な手法として、タブレットの配布や段階的な切替えが必要、子どもや孫に教えてもらったかどうかというご意見もいただいております。こちらについても担当課のほうでその後の検討について、説明をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p> <p>はい。秘書広報係としましては、先ほど村長からも話がありましたように広報紙をデジタル化していくことを進めていく予定でございます。それに先立ちましてアンケートを実施し、現状の把握に努めてまいります。そこから一つひとつデジタル化に進めていく。なお、どういった方法で周知徹底していくかということも協議していく予定でございます。よろしく願いいたします。</p>
松澤清和	<p>はい、ありがとうございます。今日は担当課の皆さんにもご出席いただいておりますので、ここまでご質問等あればお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
唐澤正吉委員 松澤清和 唐澤正吉委員	<p>はい。 お願いいたします。 ごみステーション関係のアウトソーシングは、4月は無理かもしれないとのことが大変だと思うが、「いつまでにきちっとやる」ということを示してこの委員会で検討していることが実際に行われている経過を。何月までにはやるときちっと決めて、やはり努力してもらいたいのが第一印象です。</p>
松澤さゆり	<p>今、検討はしておりますが、すぐ、いつからというのとも言えないものですから。遅くても10月、半年後ぐらいからできたらいいかなと思っております。できれば早いうちにと考えております。いつというのははっきり言えなくて申し訳ないですが、お願いいたします。</p>
松澤清和	<p>そのほか、いかがでしょうか。よろしいですかね。それではごみステーションの管理と広報紙の配布・回覧については、引き続き担当課を中心に検討を進めていただきたいと思っております。4番の経過報告は以上になります。</p>

<p>征矢章委員長</p> <p>松澤清和</p>	<p>会議次第 5. ワークショップ 各種部長と委員の推薦について・発表</p> <p>本題、これから各種部長と委員の推薦について。各班ごとにやっていくということでお願いいたします。</p> <p>引き続き 5 番ワークショップに入っていきたいと思います。資料 3-1 の本日のプログラムをご覧ください。A 4 の紙になります。表面を見ていただきまして、今日の検討内容になります。まず本日の説明をさせていただき、その後、行政協力業務について考えるというところで、第 2 回検討委員会で取り組むべき行政協力業務というのをピックアップしていただきました。第 3 回の検討委員会でごみステーションの管理と広報紙配布・回覧周知の議論を深めていただきました。先ほど村長からもお話がありましたとおり、今回につきましては意見が多くかつ重要度が高い、また予算的な部分でごみステーション、広報と比べて、予算への影響が少ない各種部長と委員の推薦についての検討を進めていただきたいと思います。こちらの表をご覧くださいとあり、ご意見として推薦に関しては、多くの意見が票数として出されております。併せまして、ワークショップの内容ですが、まず各種部長と委員の推薦に関する現状と課題について各班で再度認識を共有しながら進めていただきたいと思います。課題の再認識にあたりましては、資料 3-2 南箕輪村持続可能な自治会検討委員会 課題と解決策の共有をご覧ください。A 3 横長の厚いものになります。こちらを説明すると長くなってしまいますので、見方だけお話しさせていただきます。右下に 1-1、1-2、1-3 とページがふってあります。この 1-1 から 1-3 までが同じ内容のもので、全地区分をまとめてあります。次ページからも同様にまとめてあります。区ごとに分けてあるのは、各区によって、いろいろな課題があり、その解決策として検討されている内容があります。ボリュームが少し多くなってしまいますが、グラフ等を見ていただくより、各区の手法またやり方を検討して、それぞれの課題解決に取り組んでいるといった事例も載っておりますのでご自身の区も含め、ほかの区も見ていただきながら参考にさせていただきたいと思います。青字は一番最初に同じ表をお配りした時に出されていた内容ですので、前年度までの区の調査内容に基づいて出されていた内容。今回は黒字の部分。これが昨年度 11 月に各区長に現状調査を取らせていただいて、その現状調査に基づいております。各区、この内容全部に回答していただいております。例えば 1 ページ、1-1 の左上、役員になる頻度（複数回の役員任命）の不公平さに関する課</p>
---------------------------	--

	<p>題のところで、久保区は不公平さがあると感じていて、組の世帯数の差による頻度の差が課題としてあるという読み方をしていただければと思います。次に 1-2 の表の同じ役員になる頻度というところで神子柴区はあったが解決したという回答をいただいております。その都度、説得し理解を求めたというところで、神子柴区は今現在としてはこの問題が解決に向かっているといった内容になっていますので、ほかの区も参考にしながら見ていただければと思います。こちらは自治会組織見直しに関するアンケート調査という調査をさせていただき、それを反映した内容になっております。資料 3-1 の裏面、後半の部になります。後半の部は、同じく各種部長と委員の推薦について、事業の目的、事業内容について議論し、現実的な手法を検討していただきたいと思います。この内容は資料 3-3 各種部長と委員の推薦一覧表という表をご確認いただければと思います。A3 の赤と白黒の表です。こちらは前々回に皆さんに見ていただきました推薦の表に少し情報を足したものになります。こちらの表はまず、一番上。前回なかった部分を足してある部分です。交通部長、防犯部長、健康部長と健康副部長、衛生部長、分館長、分館主事、土木部長と共済部長というところで、各部についての主な役割や担当課が書かれています。行政からの行政協力業務としての依頼があるかないかもここに記載があります。その下は各種役員の推薦に関して、それぞれの委嘱者、誰が委嘱しているのか。例えば、民生児童委員は厚生労働大臣が民生委員法という法律に基づいて委嘱している、それに伴う主な役割。推薦にあたって、役割として難しいところもあるが、こちらについて内容を記載させていただいております。この各種部長からそれぞれの役員について、まず、役割としているかいないかというような議論と、推薦にあたってどういう手法がいいかといった議論を各班で進めていただければと思います。説明が長くなりましたが、おおむね 8 時半を目処に議論を進めていただければと思います。始める前にご質問等ございましたらお聞きしたいと思いますが、よろしいですか。それでは、よろしく願いいたします。</p> <p>(ワークショップ)</p> <p>松澤清和 時間になりましたので発表に移りたいと思います。今日は 2 班から発表をしたいと思います。</p> <p>河野道夫委員 2 班の河野です。よろしく願いします。各部の必要性といったとこ</p>
--	--

るも論議しました。一番最初に出た意見として自分たちの地域は自分たちで守るという意識の中で、本当にその部が我々にとって必要なか。そういったところをきちんと村民に周知徹底していく必要がある。ということが言われております。持ち回りで回ってきたから、訳も分からないけれど部長職を受けなくてはいけない。やだな。という気持ちが先にたってしまう。それよりも、例えば交通部はどういう重要性で、どういった必要性があってやっていただくかということが、しっかりとわかっていたら受けられる方も出てくるのでは。というお話もありました。それは置きまして、今現在部長がどういう形で選ばれているのかみんなで意見を出し合ったのですが、ほぼ、どこの区でも回り番になっています。5年先、長いところは10年くらいまで部長、副部長が回り番で決まっています。という話もありました。ただ、それは組の中でその方たちを選出しなければならないので組の中ではもめることがあるだろうということです。大泉区の例をとると、部長職を決めていただくのは15組ある中で全組長が集まり、誰が受ける、誰が受けないということを決めるそうです。そういう論議の中でその部の仕事内容の認識が深まる。大変もめたりはするが。という意見もありました。ただ、できれば、どういう形でやっていくにしても基本的にどういうことがあるからこの部は必要だということが、もう少し村民に理解していただく努力が必要ではないかということです。組も高齢化が進んでおりますので、なかなか受けられる方がいらっしやらないということの中では組ごとのバランスが取れていない。その中で沢尻区は昨年か一昨年に組の編成をし直したと。そういう形の中では回り番を受けていくのも、一応問題なくできているのではないか。ということでした。そうすると組のあり方、構成戸数においてもそうですが、世代があまりにも高齢化していれば件数だけあってもなかなかできないということもございまして、そこら辺の検討も必要になるだろうなということです。その中で我々が一番、論議の中にあっただのが必要である部と必要でない部があるのではないかとということで、我々の主観で選ばせていただきました。交通部は当然なくせない。防犯部も私の経験上から、不審者が出たという中で田畑と神子柴は特別に春先に3週間くらい自主防犯という形でパトロールを実施した経過があるので、なくせないのではないかと。健康部長、すこやか村の検討委員会の中で新しくできたという中からいくと、今だいぶ機能が変わってきてしまいコロナを過ぎたあたりからやるものが少なくなっているというので、いらぬのではという話もあり

	<p>ます。あと衛生部長は前回の話でありましたが、負担軽減をする中で残していくべきだろうかと。分館主事は村の事業、あるいはスポーツ大会等のおてこ、下部団体みたいになっている。本来の分館主事は地区のコミュニティが主役だと思うが、区自体の独自活動が縮小化されている中で機能していないのではという意見がありました。私は神子柴なのですが、去年夏祭りをコロナが始まって以来3年ぶりに開催したんです。規模は縮小しましたがやったところ、集まっていた方が例年に増して多く、たくさん子どもや年配者の方たちもおいでいただきました。メインディッシュは子どもボランティアメンバーが集まり、手作りで作った子ども神輿を披露するというイベントもあって非常に盛り上がったということがあり、分館長、分館主事も非常に達成感を感じられたという感想を述べていたので地域に根差した活動をやっていけば、この人たちのやりがいや意味は大きいのではないかと思います。あと土木と共済部長は農家の人以外は関心が薄いということもあるので、やり方を変え、区が受ける共済部長は設ける必要がないのではという意見です。土木部長は、大泉はいろいろな背景があるのでなくすわけにはいかないですが、人によっては砂利敷きをしてもらうと芝刈り機で刈れない。や田んぼに石が入って困る。など、いろいろなクレームもある。だけど敷いてもらいたい側は砂利敷きをお願いしたい。と。できたら砂利敷きは村でやってくれと、できなければ舗装してほしい。というくらい話になっています。それができれば土木部はいらないのではないかという話もあります。各種委員会のメンバーの選定は区長が関わらなくてもいい仕事、あるいは区長会長が関わらなくてもいい仕事は結構あるのではないかと。今日は具体的に言いませんが、かなり×(バツ)になった役職がございます。これについても検討していく必要があると思っています。中でも民生委員や赤十字は区長が責任もって推薦するのはいいと思うのですが、それ以外のところはやり方を変える必要があるのではないかという意見がでました。そんなところでよろしいですか。</p>
山田 茂委員	<p>今の説明の中で一点訂正させてください。沢尻区はまだ組の再編は行なってないです。</p>
田中俊彦副村長	<p>いや、やりましたよ。</p>
山田 茂委員	<p>組の再編をやりましょうと議決にはなったのですが、まだ再編は。</p>
田中俊彦副村長	<p>その前にやりましたよ。</p>
山田 茂委員	<p>10年前？</p>
田中俊彦副村長	<p>10年くらい前にはなると思うんですけど。</p>

山田 茂委員	現在、高齢化で組の人数が非常に少ないところと非常に多いところがあるので、それについてどうするかは今検討しています。だからもう一回組の再編があるかもしれない。
河野道夫委員	再編に対しての抵抗感はなかったのでしょうか。
山田 茂委員	今年の組長会、あと評議員会のほうで再編するということは議決されています。
河野道夫委員	なるほど。
山田 茂委員	ということで来年度実行になるのではないかと思います。どういうふうに区分けするかはこれから決めていくということになります。
河野道夫委員	ありがとうございました。
松澤清和	それでは1班、よろしくお願いします。
植田 学委員	では1班の発表を私、植田がさせていただきます。足りない部分があったら先輩方、フォローをお願いします。いつもはぎっしり資料を書き込みますが、今回はファシリテーターの春日さんを中心に重点的なポイントを口語ではなく、箇条書きで書いてあります。全体を見て明らかにここはというところからメリハリを付けて議論を始めていたのですが、2班と同じ考え方で役割と存在を対比しながらやっていた中で、例えば健康の関係なんかは機能が変わったと。目的に対して充当されていて他のものに移り変わっているので、ここで見直してもいいのではないかと思います。×がついているのは見直してもいいのではないかとこのところなんです。このあと細かく言っていきますが、全体に区そのものが運営すべきところと、安全に関しては一概にダメだと言えないところがあるので、全体的にこういうふうにつけています。福祉に関してもダメだという言葉はこの場では使いづらいということで言葉で表していますのでご容赦ください。細かい部分を説明していきます。健康に関しては先ほどの関係です。防犯に関してはそちらとも全く同じですけど、目的のやっている内容が区によって違いますが交通部と似たような部分がある。先ほど神子柴の事例があったので再度要検討という部分があるんですけど。内容によっては一緒にするなり、見直してもいいんじゃないかということで交通関係、プラスして防犯関係は出ています。ちなみに私、田畑です。衛生の関係で補助の方が入っていることがあり、正式に名前を聞いてきたら地域サポーターということでした。時給1,200円で現在6名体制でやっております。田畑はここにプラスして交通サポーターというものも設けていて、補助活動を行なっている。人を付けることに対しては、できるものに関しては有料化などで対処できるものは役員を見直してもいい

<p>松澤清和</p>	<p>いのではないか。今の機能としては、イベント時の交通整理や主として安協とのつながりがあるので、その部分に関しては一概にダメとは言えないですけど、安協との関係を見ながら見直しができるのではないかと方向づけました。土木に関しては区によって規模や、やっている内容が違う。これは区直営なので、それは区の事情によって区のレベルで協議すべきではないか。分館の関係は2班も言われていたのですが、コミュニティが旧来の形とかなり変わってきたが、村として持っている行事の部分がまだ現在も存在していることですし、区の活性化ってことも二面もってるので、いずれにしても村の分館と連携が必要で、必要に応じて区の会計上の整理も必要ではないかということ。これに関しては残すべきじゃないかということにしています。役員決めは先ほど当番制というような意見もあったのですが、たまたまこちらの班は非常に大きな区、中堅の区、伸びゆく区っていう事情がそれぞれあったものですから、役員決めに関してはそれぞれの区の事情で考えるのでいいのではないかということで、今日の時点ではまっています。区そのものと安全衛生の関係ともう一つありますが、福祉の関係です。やはり委員を選ぶとなると民生児童委員は絶対必要な委員だということがわかっているが、とにかく人選が難しい。私が実際そうだが、仕事の内容を村民、区民が理解していない部分があるし、負担量がわからない部分で人が単純化して選びづらい、集中してしまうなんてものがあります。なので例えばですが、手当を払い有償で賄えるのなら、人を確保する部分に関してはそんなところを見直してもいいのではないか。あるいはこれは村と重なる部分なのですが、社協や赤十字。区でもっている民生ってことで、このへんの関係はクロスしている部分があるんじゃないかということで、そこらへんを村と一緒に整理しながら区の民生委員っていうのを立てていくべきじゃないかということになっています。役員選出に関しては2班と同じで今回の目的の村から区への委託業務ということでこの会合をやっていますが、明らかにそこで線が引かれている部分に関しては残さなきゃいけないということですが、それ以外の村から区の部分に関しては要検討ということ。あとは区長会長。区長と名前がついているものに関しても、区長あるいは区長会長でなくてもいいものもあるのではないかということで、その中身も分解したほうがいいのではないかということが出ております。自分がうまくまとめられてないもんですから、以上のようにまとまりました。補足ありましたら。いいですか。ご質問はよろしいでしょうか。今日、皆さんにご協力いただき9時少</p>
-------------	---

<p>池田友美</p>	<p>し前になってしまいましたが、終わることができました。次回ですが、2月22日の午後7時ということで。場所が村民センター2階になります。今日の内容と、先ほど各課から話をいただいたごみステーションの管理、広報紙配布・回覧周知の内容と併せまして、次回この内容についてご審議をいただけるようにまとめていきたいと考えています。よろしくお願いします。私からは以上になります。</p> <p>会議次第6. 次回の日程</p> <p>長時間に及ぶ協議、ありがとうございます。先ほどローカルライフさんのほうで話がありました次回の日程です。2月が令和5年度、第5回で最後になります。会場が、確定申告が始まる関係でこちらの講堂が使えません。隣にある村民センターの2階、大会議室に会場が変わりますので、お間違いのないようにご参加をお願いします。</p> <p>日 時 2月22日(木) 午後7時 場 所 村民センター 2階 大会議室</p>
<p>池田友美</p>	<p>会議次第7. その他</p> <p>7. その他になりますが、全体を通しまして何かご意見、ご質問等ある方がいらっしゃいましたらお願いしたいと思います。大丈夫でしょうか。</p>
<p>池田友美</p>	<p>会議次第8. 閉会</p> <p>では、長時間に及びましたけれども、今日も1日ありがとうございました。本日の内容をまとめさせていただいて、それを基にまた第5回目の協議をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。本日は長時間に及びありがとうございました。お気をつけてお帰りください。</p>